

第4章 投資・財政計画

1 水道事業会計

■ 投資計画（水道施設更新計画）

（１）投資計画の基本方針

投資計画の策定に当たっては、第1章“4 将来の事業環境”の中長期的な視点による更新需要と財政収支の見通しを踏まえ、投資規模を決定しています。

更新対象の施設は、目標耐用年数を超えて使用している施設を優先的に更新するとともに、基幹となる施設については、施設の更新に併せて耐震化を図ることを基本方針とします。

（２）投資計画の概要

① 老朽施設等更新改良事業

浄水場の設備のうち、目標耐用年数を超えて使用している電気計装設備、機械設備を優先的に更新します。ポンプ所では、ポンプの更新と併せて計装設備の更新を行うほか、上屋の建築改修工事を行います。

配水池では、これまで懸案事項であった低区配水池の更新用地の確保に目途がついたことから更新を行います。また、他の配水池では上屋の建築改修工事のほか、計装設備、機械設備の更新を順次行います。

余市川水源に関連する施設では、常盤ダムのゲート改修等の長寿命化対策工事及び計装設備の更新、また、松倉導水トンネルの長寿命化対策工事を行います。

② 導・送水管整備事業

余市川水源から取水した水を天神浄水場へ送る天神導水管や豊倉浄水場で処理した水を各配水池へ送る豊倉送水管の布設替えを行い、併せて管路の耐震化を図ります。

③ 配水管整備事業

※
無ライニングの铸铁管、塩化ビニール管などの事故多発管の布設替えを行います。また、目標耐用年数を超えたダクトイル铸铁管のうち、基幹となる管路の布設替えを行い、併せて管路の耐震化を図ります。

年次計画

事業年度		令和元年 2019	令和2年 2020	令和3年 2021	令和4年 2022	令和5年 2023	令和6年 2024	令和7年 2025	令和8年 2026	令和9年 2027	令和10年 2028
事業名・工事名	事業費	当初 実績・変更									
老朽施設等更新改良	朝里ダム負担金 電気設備更新・長寿命化対策	1,136 百万円 (849 百万円)	1,278 百万円 (969 百万円)	1,293 百万円 (771 百万円)	1,267 百万円 (1,126 百万円)	1,316 百万円 (1,029 百万円)	1,307 百万円 (1,189 百万円)	1,315 百万円 (1,733 百万円)	1,279 百万円 (1,351 百万円)	1,264 百万円 (1,284 百万円)	1,275 百万円 (1,299 百万円)
	余市川水源関連施設 老朽施設更新改良										
	豊倉浄水場 機械設備・電気設備更新										
	天神浄水場 機械設備・電気設備更新										
	銭函浄水場 機械設備・電気設備更新										
	ポンプ所 機械設備・電気設備更新										
	配水池 老朽施設等更新改良										
	低区配水池更新										
導・送水管整備	老朽導水管更新	587 百万円 (376 百万円)	844 百万円 (649 百万円)	822 百万円 (393 百万円)	812 百万円 (561 百万円)	830 百万円 (516 百万円)	840 百万円 (1,455 百万円)	823 百万円 (1,249 百万円)	747 百万円 (876 百万円)	736 百万円 (873 百万円)	717 百万円 (891 百万円)
	老朽送水管更新										
配水管整備											
事業費	当初 実績・変更	247 百万円 (211 百万円)	126 百万円 (54 百万円)	163 百万円 (103 百万円)	147 百万円 (256 百万円)	177 百万円 (203 百万円)	158 百万円 (88 百万円)	183 百万円 (150 百万円)	222 百万円 (93 百万円)	218 百万円 (81 百万円)	248 百万円 (78 百万円)
事業費	当初 実績・変更	302 百万円 (262 百万円)	308 百万円 (266 百万円)	308 百万円 (275 百万円)	308 百万円 (309 百万円)	309 百万円 (310 百万円)	309 百万円 (347 百万円)	309 百万円 (334 百万円)	310 百万円 (382 百万円)	310 百万円 (330 百万円)	310 百万円 (330 百万円)

※上段：当初計画 下段：2019～2023年までは実施事業費、2024～2029年は変更した計画事業費

■ 財政計画（収支計画）

（１）料金収入の見通し

料金収入については、これまでの実績を基に推計してきましたが、コロナ禍の行動制限等により、家事用が一時的に増加傾向になる反面、業務用が大きく減少するなど、令和 5（2023）年度までは当初の見通しから大きく乖離しましたが、今後は、新型コロナウイルス感染症も 5 類に移行したことから、以前の傾向に戻るものと想定しました。

基本料金は使用水量により増減するものでないため、家事用、業務用ともに契約件数に当たる調定件数は減少すると想定しました。また、超過料金は使用水量により算出するため、家事用は社人研による推計人口を参考にした給水人口の減少率で推移し、業務用は景気動向により需要が変動するものの、コロナ禍による減収からは着実に回復傾向にあるため、令和 6（2024）年度推計額から若干上向きで推移すると想定しました。

（２）財政計画の概要

① 算出方法について

財政計画（収支計画）における主な項目の算出方法は次のとおりです。

※ 【収益的収支】

- 下水道負担金・・・水道事業、下水道事業の共通経費については、水道事業会計が一度全額を負担し、下水道事業分は負担金として水道事業に支出しており、金額は将来の人件費等を勘案し推計している。
- 人件費・・・・・・ 人数については、効率的な事業の推進により、最低限とするが、業務や事業量の増減に対応する人員は一定程度見込んでいる。また、職員の年齢構成については、全職員の平均年齢が 40 代中盤となる形が維持されることを前提としている。
- 維持管理費・・・ 水道施設更新計画を着実に進めるためには、施設の適切な維持管理が不可欠なため、更新計画と整合性を図った維持管理計画に基づき推計している。

※ 【資本的収支】

- 企業債・・・・・・ 建設改良費の財源について、交付金が充当される一部の耐震化事業以外は、基本的に公営企業債を充当することとした。

② 財政計画（収支計画）

○水道事業会計（当初計画値）

（単位：千円）

区 分		年 度	平成30年度 （決 算）	計 画				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益 的 収 支 〔税抜額〕	収 入	営業収益	2,536,876	2,551,579	2,534,593	2,515,693	2,497,239	2,478,990
		給水収益	2,311,729	2,303,547	2,281,598	2,259,437	2,237,647	2,216,220
		一般会計負担金	17,297	18,066	18,066	18,066	18,066	18,066
		その他（下水道負担金等）	207,850	229,966	234,929	238,190	241,526	244,704
		営業外収益	265,070	257,471	257,058	257,564	256,095	255,317
		一般会計補助金	42,134	40,819	40,775	40,775	40,775	40,775
		※ その他（長期前受金戻入等）	222,936	216,652	216,283	216,789	215,320	214,542
		特別利益	2	100	100	100	100	100
		収 入 合 計	2,801,948	2,809,150	2,791,751	2,773,357	2,753,434	2,734,407
	支 出	営業費用	2,102,835	2,319,722	2,462,370	2,507,591	2,459,036	2,480,997
		維持管理費	1,065,217	1,159,722	1,231,010	1,244,162	1,167,899	1,164,056
		うち 人件費	443,659	478,611	536,840	548,315	490,497	471,182
		その他（減価償却費等）	1,037,618	1,160,000	1,231,360	1,263,429	1,291,137	1,316,941
		営業外費用	247,837	233,038	204,350	181,136	167,104	156,143
		企業債利息	235,200	213,368	194,619	179,418	166,061	153,154
		その他（雑支出等）	12,637	19,670	9,731	1,718	1,043	2,989
		特別損失	62	1,010	1,009	1,009	1,009	1,009
		予備費	-	9,091	9,091	9,091	9,091	9,091
		支 出 合 計	2,350,734	2,562,861	2,676,820	2,698,827	2,636,240	2,647,240
	収 益 的 収 支 差 引		451,214	246,289	114,931	74,530	117,194	87,167

資 本 的 収 支 〔税込額〕	収 入	企業債	739,700	1,029,400	1,188,100	1,235,000	1,170,900	1,173,600
		交付金	24,512	59,866	69,174	39,631	61,099	62,523
		一般会計出資金等	44,541	18,810	240	240	240	240
		その他（工事負担金等）	11,555	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		収 入 合 計	820,308	1,109,376	1,258,814	1,276,171	1,233,539	1,237,663
	支 出	建設改良費	903,091	1,189,235	1,344,350	1,340,790	1,330,460	1,363,498
		うち 人件費	61,646	64,733	72,581	73,341	74,111	74,889
		企業債償還金	1,265,926	1,307,527	1,205,954	1,216,647	1,267,173	1,201,957
		支 出 合 計	2,169,017	2,496,762	2,550,304	2,557,437	2,597,633	2,565,455
	資 本 的 収 支 差 引(A)		△ 1,348,709	△ 1,387,386	△ 1,291,490	△ 1,281,266	△ 1,364,094	△ 1,327,792

※ 補填財源使用可能額(B)	2,727,727	2,690,294	2,620,088	2,629,911	2,714,298	2,698,012
年度末資金過不足額(A)+(B)	1,379,018	1,302,908	1,328,598	1,348,645	1,350,204	1,370,220
年度末企業債残高	13,324,419	13,046,292	13,028,438	13,046,791	12,950,518	12,922,161

(単位:千円)

区 分			年 度	計 画				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収益的 収 入 支 出 【税抜額】	収 入	営業収益	2,459,453	2,440,282	2,419,501	2,399,059	2,379,020	
		給水収益	2,195,150	2,174,430	2,152,084	2,130,061	2,108,425	
		一般会計負担金	18,066	18,066	18,066	18,066	18,066	
		その他(下水道負担金等)	246,237	247,786	249,351	250,932	252,529	
		営業外収益	254,962	253,230	251,768	251,540	249,753	
		一般会計補助金	40,775	40,775	40,775	40,775	40,775	
		その他(長期前受金戻入等)	214,187	212,455	210,993	210,765	208,978	
		特別利益	100	100	100	100	100	
		収 入 合 計	2,714,515	2,693,612	2,671,369	2,650,699	2,628,873	
	支 出	営業費用	2,514,724	2,558,146	2,580,397	2,591,609	2,641,880	
		維持管理費	1,186,742	1,214,393	1,210,642	1,195,677	1,223,688	
		うち 人件費	507,784	524,491	516,295	525,016	559,332	
		その他(減価償却費等)	1,327,982	1,343,753	1,369,755	1,395,932	1,418,192	
		営業外費用	154,463	145,135	143,703	141,838	144,199	
		企業債利息	144,606	142,513	141,583	140,559	139,408	
		その他(雑支出等)	9,857	2,622	2,120	1,279	4,791	
		特別損失	1,009	1,009	1,009	1,009	1,009	
		予備費	9,091	9,091	9,091	9,091	9,091	
		支 出 合 計	2,679,287	2,713,381	2,734,200	2,743,547	2,796,179	
		収益的収支差引		35,228	△19,769	△62,831	△92,848	△167,306

資本的 収 入	収 入	企業債	1,205,200	1,197,500	1,164,300	1,099,400	1,163,400
		交付金	34,637	50,720	47,950	90,249	25,699
		一般会計出資金等	240	240	240	240	240
		その他(工事負担金等)	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		収 入 合 計	1,241,377	1,249,760	1,213,790	1,191,189	1,190,639
	支 出	建設改良費	1,380,532	1,376,914	1,342,719	1,336,097	1,359,156
		うち 人件費	75,673	76,465	77,270	78,080	79,357
		企業債償還金	1,193,288	1,202,184	1,245,475	1,239,818	1,175,715
		支 出 合 計	2,573,820	2,579,098	2,588,194	2,575,915	2,534,871
	資本的収支差引(A)		△ 1,332,443	△ 1,329,338	△ 1,374,404	△ 1,384,726	△ 1,344,232

補填財源使用可能額(B)	2,676,690	2,604,837	2,535,096	2,388,535	2,200,886
年度末資金過不足額(A)+(B)	1,344,247	1,275,499	1,160,692	1,003,809	856,654
年度末企業債残高	12,934,073	12,929,389	12,848,214	12,707,796	12,695,481

○水道事業会計（実績及び中間見直し値）

（単位：千円）

区 分			年 度	決 算					
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益的 収 入	収 入	営業収益	2,536,876	2,525,009	2,388,722	2,344,593	2,329,380	2,329,761	
		給水収益	2,311,729	2,279,935	2,146,519	2,127,506	2,129,523	2,120,062	
		その他(下水道負担金等)	225,147	245,074	242,203	217,087	199,857	209,699	
		営業外収益	265,070	266,397	250,336	271,754	250,715	243,349	
		一般会計負担金	42,134	40,578	39,372	38,069	36,984	34,544	
		その他(長期前受金戻入等)	222,936	225,819	210,964	233,685	213,731	208,805	
		特別利益	2	856	29	－	222	672	
	収 入 合 計		2,801,948	2,792,262	2,639,087	2,616,347	2,580,317	2,573,782	
	支 出	営業費用	2,102,835	2,144,455	2,202,203	2,110,105	2,132,677	2,162,599	
		維持管理費	1,065,217	1,067,322	1,074,968	1,000,557	1,022,531	1,077,526	
		うち 人件費	443,659	420,548	426,915	366,734	350,934	386,798	
		その他(減価償却費等)	1,037,618	1,077,133	1,127,235	1,109,548	1,110,146	1,085,073	
		営業外費用	247,837	213,390	191,560	173,282	178,075	161,297	
		企業債利息	235,200	210,550	189,155	168,931	151,383	139,189	
		その他(雑支出等)	12,637	2,840	2,405	4,351	26,692	22,108	
		特別損失	62	2,278	76	262	21	433	
		予備費	－	－	－	－	－	－	
		支 出 合 計		2,350,734	2,360,123	2,393,839	2,283,649	2,310,773	2,324,329
		収益的収支差引		451,214	432,139	245,248	332,698	269,544	249,453

資本的 収 入	収 入	企業債	739,700	775,000	893,400	688,600	827,200	798,300
		交付金	24,512	39,518	16,834	34,947	15,053	11,675
		一般会計負担金	44,541	18,971	576	418	252	409
		その他(工事負担金等)	11,555	550	－	13,839	253,436	185,527
		収 入 合 計	820,308	834,039	910,810	737,804	1,095,941	995,911
	支 出	建設改良費	903,091	905,847	1,018,993	817,866	1,186,383	1,054,060
		うち 人件費	61,646	62,055	60,145	54,127	51,549	51,011
		企業債償還金	1,265,926	1,307,517	1,205,817	1,143,191	1,138,234	1,100,732
		支 出 合 計	2,169,017	2,213,364	2,224,810	1,961,057	2,324,617	2,154,792
		資本的収支差引(A)		△ 1,348,709	△ 1,379,325	△ 1,314,000	△ 1,223,253	△ 1,228,676

補填財源使用可能額(B)			2,727,727	2,706,961	2,600,378	2,541,837	2,627,163	2,685,735
年度末資金過不足額(A)+(B)			1,379,018	1,327,636	1,286,378	1,318,584	1,398,487	1,526,854
年度末企業債残高			13,324,419	12,791,902	12,479,485	12,024,894	11,713,860	11,411,428

(単位:千円)

区 分		年 度	計 画				
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収益的 収 入	収 入	営業収益	2,349,499	2,322,081	2,305,828	2,298,767	2,282,665
		給水収益	2,114,734	2,108,315	2,091,225	2,084,223	2,067,554
		その他(下水道負担金等)	234,765	213,766	214,603	214,544	215,111
	入	営業外収益	247,683	239,990	238,582	237,833	234,394
		一般会計負担金	33,654	33,229	32,771	32,319	31,877
		その他(長期前受金戻入等)	214,029	206,761	205,811	205,514	202,517
		特別利益	100	205	240	288	301
	収 入 合 計		2,597,282	2,562,276	2,544,650	2,536,888	2,517,360
	支 出	営業費用	2,327,510	2,280,788	2,377,203	2,392,203	2,480,745
		維持管理費	1,229,696	1,088,547	1,142,873	1,139,321	1,139,715
		うち 人件費	396,634	377,403	435,852	408,327	417,717
		その他(減価償却費等)	1,097,814	1,192,241	1,234,330	1,252,882	1,341,030
		営業外費用	192,007	153,317	164,819	164,251	165,183
		企業債利息	139,461	151,993	156,498	157,415	155,954
		その他(雑支出等)	52,546	1,324	8,321	6,836	9,229
		特別損失	1,010	1,009	1,009	1,009	1,009
		予備費	9,091	9,091	9,091	9,091	9,091
		支 出 合 計	2,529,618	2,444,205	2,552,122	2,566,554	2,656,028
	収益的収支差引		67,664	118,071	△7,472	△29,666	△138,668

資本的 収 入	収 入	企業債	1,803,900	1,643,500	1,304,800	1,250,700	1,276,100
		交付金	63,090	77,333	45,766	33,099	22,666
		一般会計負担金	13,395	336	336	336	336
		その他(工事負担金等)	292	100	100	100	100
		収 入 合 計	1,880,677	1,721,269	1,351,002	1,284,235	1,299,202
	支 出	建設改良費	1,973,695	1,778,488	1,396,955	1,347,066	1,365,601
		うち 人件費	62,186	64,083	64,515	64,953	65,393
		企業債償還金	1,062,241	1,032,704	1,118,604	1,139,439	1,080,986
		支 出 合 計	3,035,936	2,811,192	2,515,559	2,486,505	2,446,587
	資本的収支差引(A)		△ 1,155,259	△ 1,089,923	△ 1,164,557	△ 1,202,270	△ 1,147,385

補填財源使用可能額(B)	2,700,242	2,829,378	2,920,064	2,939,262	2,911,539
年度末資金過不足額(A)+(B)	1,544,983	1,739,455	1,755,507	1,736,992	1,764,154
年度末企業債残高	12,153,087	12,763,883	12,950,079	13,061,340	13,256,454

第 1 章

第 2 章

第 3 章

第 4 章

第 5 章

用 語 集

③ 収支の見通しについて

投資計画や維持管理計画、料金収入の見通しなどを踏まえ作成した財政計画における10年間（令和元年度から令和10年度）の収支の見通しは次のとおりです。

【収益的収支】

収益的収入は、給水人口の減少により料金収入の減少が見込まれ、また、収益的支出は、老朽化施設の更新が増え減価償却費が増加することから、損益収支は悪化し、令和8（2026）年度には損失（赤字）が発生する見通しです。

【資本的収支】

老朽化施設の更新が増えることにより企業債の発行は増え、資本的収入及び資本的支出ともに増加します。資本的支出の企業債償還金に大きな増減がなく推移することから、資本収支はほぼ横ばいとなる見通しです。

【資金収支】

計画期間の最終年度である令和10（2028）年度において、約17億円は確保される見込みですが、損益収支の損失（赤字）が徐々に大きくなっていくため、資金額は今後減少する見通しです。

（3）今後の検討課題等

① 経営健全化・収支改善について

損益収支の改善策として、資金の状況を見ながら企業債の借入条件を見極め、利息負担の軽減を図ります。

また、官民の役割分担を見直し、委託の範囲を拡大するなど、効率的な運営を進めるとともに、事業の安定化を図る方策を検討します。

② 料金改定について

基本水量や基本料金の見直しによる収支の影響とともに、料金改定の時期についても、資金不足発生のタイミングで行うのではなく、将来の財政状況を見据えた中での計画的な見直しを検討します。

2 下水道事業会計

■ 投資計画（下水道施設更新計画）

（１）投資計画の基本方針

投資計画の策定に当たっては、第1章“4 将来の事業環境”の中長期的な視点による更新需要と財政収支の見通しを踏まえ、投資規模を決定しています。

投資計画では、老朽化が著しく緊急性の高い色内ふ頭護岸を最優先で更新します。また、目標耐用年数を超えている施設は、リスク評価（優先度）の高い中央下水終末処理場及び銭函下水終末処理場、勝納污水中継ポンプ場の機械設備及び電気設備の更新を優先します。管渠^{きょ}については、おおむね50年が経過した管路から調査を行い、劣化が激しい管路の更新を行います。

（２）投資計画の概要

① 色内ふ頭老朽化対策事業

中央下水終末処理場において、敷地外周を囲う色内ふ頭護岸の長寿命化対策工事を行います。

② 処理場・ポンプ場施設更新事業

中央下水終末処理場及び銭函下水終末処理場において、リスク評価の高い機械設備及び電気設備を優先し更新工事を行います。また、中継ポンプ場では、改築を視野に入れた勝納污水中継ポンプ場の施設規模の検討結果から、既存施設の耐震補強工事や外壁改修等の長寿命化対策工事を行うとともに、リスク評価の高い機械設備及び電気設備の更新工事を行います。

③ 管路施設更新事業

入船地区、於古発地区、熊碓地区等の重要な幹線で、おおむね50年が経過した管路から調査を行うとともに、劣化が激しい管路の更新工事を行います。また、市内一円において劣化の激しいマンホール蓋や受枠についても、順次、更新工事を行います。

年次計画

事業年度			令和元 年 2019	令和2 年 2020	令和3 年 2021	令和4 年 2022	令和5 年 2023	令和6 年 2024	令和7 年 2025	令和8 年 2026	令和9 年 2027	令和10 年 2028	
事業名・工事名		事業費	当初	1,819 百万円	1,452 百万円	1,738 百万円	1,573 百万円	1,955 百万円	2,079 百万円	1,828 百万円	1,776 百万円	1,264 百万円	1,413 百万円
		実績 及び変更	(760 百万円)	(1,576 百万円)	(1,045 百万円)	(1,426 百万円)	(1,090 百万円)	2,976 百万円	2,011 百万円	2,008 百万円	1,914 百万円	1,835 百万円	
下水 終末 処理場	中央	色内ふ頭護岸 改良工事											
		脱臭設備更新工事											
		汚水ポンプ設備 更新工事											
		沈砂池設備更新工事											
		遠方監視制御設備 更新工事											
		上記以外の更新工事											
	銭函	水処理設備更新工事											
		中央監視・受変電 設備更新工事											
		上記以外の更新工事											
	蘭島	汚水ポンプ設備 更新工事											
		上記以外の更新工事											
	事業費		当初	1,249 百万円	1,166 百万円	1,430 百万円	1,314 百万円	1,621 百万円	1,575 百万円	1,136 百万円	1,129 百万円	619 百万円	815 百万円
			実績 及び変更	(574 百万円)	(981 百万円)	(830 百万円)	(1,104 百万円)	(477 百万円)	2,441 百万円	1,300 百万円	1,324 百万円	1,128 百万円	1,241 百万円
	中継 ポン プ場	朝里第1	汚水ポンプ設備 更新工事										
自家発電設備 更新工事													
朝里第2		負荷・監視制御・ 受変電設備更新工事											
		負荷・監視制御・ 受変電設備更新工事											
勝納		汚水ポンプ設備 更新工事											
		電気棟建築工事(当初 耐震補強工事(計画))											
		自家発電・受変電 設備更新工事											
高島		汚水ポンプ設備 更新工事											
		汚水ポンプ設備 更新工事											
塩谷第2		汚水ポンプ設備 更新工事											
		汚水ポンプ設備 更新工事											
若竹		汚水ポンプ設備 更新工事											
		汚水ポンプ設備 更新工事											
事業費		当初	240 百万円	45 百万円	100 百万円	44 百万円	108 百万円	226 百万円	376 百万円	240 百万円	169 百万円	27 百万円	
		実績 及び変更	(126 百万円)	(49 百万円)	(37 百万円)	(57 百万円)	(334 百万円)	124 百万円	295 百万円	247 百万円	353 百万円	162 百万円	
M P	市内	汚水ポンプ更新工事											
	事業費	当初	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円
		実績 及び変更	(-)	(18 百万円)	(-)	(7 百万円)	(7 百万円)	-	6 百万円	6 百万円	6 百万円	6 百万円	
管路	市内	老朽管更新工事											
	市内	マンホール蓋・受枠 更新工事											
		マンホール蓋・受枠 更新工事											
	事業費		当初	324 百万円	235 百万円	202 百万円	209 百万円	220 百万円	272 百万円	310 百万円	401 百万円	470 百万円	565 百万円
		実績 及び変更	(61 百万円)	(529 百万円)	(177 百万円)	(259 百万円)	(273 百万円)	411 百万円	409 百万円	431 百万円	427 百万円	426 百万円	

※MP：マンホールポンプ場

※上段：当初計画 下段：2019～2023 年までは実施事業費、2024～2029 年は変更した計画事業費

■ 財政計画（収支計画）

（１）使用料収入の見通し

使用料収入については、これまでの実績を基に推計してきましたが、コロナ禍の行動制限等により、家事用が一時的に増加傾向になる反面、業務用が大きく減少するなど、令和 5（2023）年度までは当初の見通しから大きく乖離しましたが、今後は、新型コロナウイルス感染症も 5 類に移行したことから、以前の傾向に戻るものと想定しました。

基本料金は使用水量により増減するものでないため、家事用、業務用ともに契約件数に当たる調定件数は減少すると想定しました。また、超過料金は使用水量により算出するため、家事用は社人研による推計人口を参考にした水洗化人口の減少率で推移し、業務用は景気動向により需要が変動するものの、コロナ禍による減収からは着実に回復傾向にあるため、令和 6（2024）年度推計額から若干上向きで推移すると想定しました。

（２）財政計画の概要

① 算出方法について

財政計画（収支計画）における主な項目の算出方法は次のとおりです。

【収益的収支】

○人件費・・・人数については、効率的な事業の推進により、最低限とするが、業務や事業量の増減に対応する人員は一定程度見込んでいる。また、職員の年齢構成については、全職員の平均年齢が 40 代中盤となる形が維持されることを前提としている。

○維持管理費・・・下水道施設更新計画を着実に進めるためには、施設の適切な維持管理が不可欠なため、更新計画と整合性を図った維持管理計画に基づき推計している。

【資本的収支】

○企業債・・・建設改良費の財源について、交付金が充当される部分以外は、基本的に公営企業債を充当することとした。

② 財政計画（収支計画）

○下水道事業会計（当初計画値）

（単位：千円）

区 分		年 度	平成30年度 (決 算)	計 画				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益 的 収 支 【税抜額】	収 入	営業収益	1,973,577	1,966,791	1,951,559	1,935,840	1,920,376	1,905,096
		下水道使用料	1,889,266	1,884,381	1,870,772	1,856,941	1,843,309	1,829,872
		一般会計負担金	84,311	82,410	80,787	78,899	77,067	75,224
		営業外収益	1,665,367	1,651,989	1,522,394	1,525,177	1,559,385	1,536,598
		一般会計補助金	780,822	748,112	641,755	629,972	636,492	604,463
		その他(長期前受金戻入等)	884,545	903,877	880,639	895,205	922,893	932,135
		特別利益	3,285	90	100	100	100	100
		収 入 合 計	3,642,229	3,618,870	3,474,053	3,461,117	3,479,861	3,441,794
	支 出	営業費用	2,887,144	3,044,523	3,276,230	3,302,338	3,338,677	3,324,840
		維持管理費	1,066,137	1,189,523	1,348,968	1,316,474	1,305,597	1,245,315
		うち 人件費	69,493	105,846	163,576	139,625	135,634	105,369
		その他(減価償却費等)	1,821,007	1,855,000	1,927,262	1,985,864	2,033,080	2,079,525
		営業外費用	244,888	290,681	206,258	203,862	173,131	172,968
		企業債利息	208,846	174,951	148,088	125,373	104,255	86,311
		その他(雑支出等)	36,042	115,730	58,170	78,489	68,876	86,657
		特別損失	144	1,184	1,010	1,010	1,010	1,010
		予備費	-	4,546	4,546	4,546	4,546	4,546
		支 出 合 計	3,132,176	3,340,934	3,488,044	3,511,756	3,517,364	3,503,364
		収 益 的 収 支 差 引	510,053	277,936	△13,991	△50,639	△37,503	△61,570

資 本 的 収 支 【税込額】	収 入	企業債	744,000	1,093,900	794,700	859,100	782,300	929,300
		交付金	297,404	691,100	508,000	723,235	652,195	832,065
		一般会計出資金等	387,324	376,589	368,482	357,624	297,193	241,718
		その他(貸付金償還金等)	251,832	405,477	425,493	433,733	409,184	434,307
		収 入 合 計	1,680,560	2,567,066	2,096,675	2,373,692	2,140,872	2,437,390
	支 出	建設改良費	784,069	1,828,382	1,465,965	1,752,215	1,586,656	1,969,104
		うち 人件費	49,801	55,497	62,760	63,880	65,021	66,669
		企業債償還金	2,349,184	2,105,943	1,807,769	1,756,547	1,701,474	1,556,440
		その他(貸付金等)	470	5,450	5,450	5,450	5,450	5,450
		支 出 合 計	3,133,723	3,939,775	3,279,184	3,514,212	3,293,580	3,530,994
		資 本 的 収 支 差 引(A)	△ 1,453,163	△ 1,372,709	△ 1,182,509	△ 1,140,520	△ 1,152,708	△ 1,093,604

補填財源使用可能額(B)	1,609,834	1,574,676	1,440,705	1,448,893	1,551,454	1,687,003
年度末資金過不足額(A)+(B)	156,671	201,967	258,196	308,373	398,746	593,399
年度末企業債残高	14,054,045	13,056,302	12,053,233	11,163,786	10,251,512	9,629,672

(単位:千円)

区 分		年 度	計 画				
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収益的 収 入 支 出 【税抜額】	収 入	営業収益	1,890,413	1,876,323	1,860,844	1,845,816	1,831,323
		下水道使用料	1,816,627	1,803,571	1,789,053	1,774,763	1,760,698
		一般会計負担金	73,786	72,752	71,791	71,053	70,625
	入	営業外収益	1,524,522	1,550,549	1,595,075	1,592,028	1,591,234
		一般会計補助金	568,956	567,855	591,552	574,800	572,201
		その他(長期前受金戻入等)	955,566	982,694	1,003,523	1,017,228	1,019,033
		特別利益	100	100	100	100	100
	収 入 合 計		3,415,035	3,426,972	3,456,019	3,437,944	3,422,657
	支 出	営業費用	3,581,735	3,662,663	3,598,596	3,598,160	3,637,999
		維持管理費	1,428,981	1,486,872	1,377,789	1,340,882	1,360,424
		うち 人件費	127,639	131,095	129,477	117,782	111,613
		その他(減価償却費等)	2,152,754	2,175,791	2,220,807	2,257,278	2,277,575
		営業外費用	164,201	148,087	140,862	110,761	116,176
		企業債利息	74,591	70,760	67,836	66,675	64,828
		その他(雑支出等)	89,610	77,327	73,026	44,086	51,348
		特別損失	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010
		予備費	4,546	4,546	4,546	4,546	4,546
	支 出 合 計		3,751,492	3,816,306	3,745,014	3,714,477	3,759,731
	収益的収支差引		△336,457	△389,334	△288,995	△276,533	△337,074

資本的 収 入 支 出 【税込額】	収 入	企業債	1,023,700	893,400	883,300	622,900	738,200
		交付金	899,490	752,545	725,215	554,685	641,205
		一般会計出資金等	198,441	169,343	154,504	128,170	114,158
		その他(貸付金償還金等)	344,065	290,717	194,640	4,710	4,550
	収 入 合 計		2,465,696	2,106,005	1,957,659	1,310,465	1,498,113
	支 出	建設改良費	2,093,462	1,842,986	1,790,837	1,278,513	1,428,747
		うち 人件費	74,127	75,451	76,802	78,178	80,112
		企業債償還金	1,342,458	1,223,050	1,163,251	999,099	939,394
		その他(貸付金等)	4,450	4,450	4,450	4,450	4,450
	支 出 合 計		3,440,370	3,070,486	2,958,538	2,282,062	2,372,591
	資本的収支差引(A)		△ 974,674	△ 964,481	△ 1,000,879	△ 971,597	△ 874,478

補填財源使用可能額(B)	1,632,578	1,638,615	1,759,519	1,850,363	1,923,111
年度末資金過不足額(A)+(B)	657,904	674,134	758,640	878,766	1,048,633
年度末企業債残高	9,314,814	8,988,164	8,710,413	8,335,814	8,135,920

○下水道事業会計（実績及び中間見直し値）

（単位：千円）

区 分		年 度	決 算					
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益的 収 入	収 入	営業収益	1,973,577	1,953,777	1,857,975	1,849,278	1,841,051	1,861,496
		下水道使用料	1,889,266	1,871,367	1,777,190	1,766,507	1,760,090	1,781,256
		一般会計負担金	84,311	82,410	80,785	82,771	80,961	80,240
		営業外収益	1,665,367	1,644,811	1,545,722	1,563,886	1,523,078	1,518,452
		一般会計補助金	780,822	745,568	632,349	616,318	615,450	590,340
		その他（長期前受金戻入等）	884,545	899,243	913,373	947,568	907,628	928,112
		特別利益	3,285	4,591	9,897	24	197	1,043
		収 入 合 計	3,642,229	3,603,179	3,413,594	3,413,188	3,364,326	3,380,991
	支 出	営業費用	2,887,144	2,970,324	3,099,493	3,118,602	3,157,833	3,239,036
		維持管理費	1,066,137	1,139,771	1,205,225	1,183,166	1,289,778	1,344,272
		うち 人件費	69,493	103,864	80,415	100,819	93,450	108,206
		その他（減価償却費等）	1,821,007	1,830,553	1,894,268	1,935,436	1,868,055	1,894,764
		営業外費用	244,888	203,745	204,657	166,261	158,272	126,161
		企業債利息	208,846	171,946	141,476	117,619	94,797	82,145
		その他（雑支出等）	36,042	31,799	63,181	48,642	63,475	44,016
		特別損失	144	1,653	39	156	17	258
		予備費	-	-	-	-	-	-
		支 出 合 計	3,132,176	3,175,722	3,304,189	3,285,019	3,316,122	3,365,455
		収益的収支差引	510,053	427,457	109,405	128,169	48,204	15,536
資本的 収 入	収 入	企業債	744,000	520,500	1,042,600	588,500	784,600	629,200
		交付金	297,404	291,359	511,725	382,065	470,609	479,407
		一般会計出資金等	387,324	376,556	368,495	357,515	297,470	242,137
		その他（貸付金償還金等）	251,832	296,709	422,962	393,356	470,313	244,515
		収 入 合 計	1,680,560	1,485,124	2,345,782	1,721,436	2,022,992	1,595,259
	支 出	建設改良費	784,069	856,444	1,611,522	1,099,792	1,466,308	1,149,584
		うち 人件費	49,801	55,497	62,087	62,487	62,337	58,370
		企業債償還金	2,349,184	2,105,903	1,808,361	1,748,285	1,681,639	1,527,054
		その他（貸付金等）	470	500	1,000	500	-	500
		支 出 合 計	3,133,723	2,962,847	3,420,883	2,848,577	3,147,947	2,677,138
		資本的収支差引(A)	△ 1,453,163	△ 1,477,723	△ 1,075,101	△ 1,127,141	△ 1,124,955	△ 1,081,879
		補填財源使用可能額(B)	1,609,834	1,612,467	1,400,686	1,547,296	1,582,031	1,584,442
		年度末資金過不足額(A)+(B)	156,671	134,744	325,585	420,155	457,076	502,563
		年度末企業債残高	14,054,045	12,482,942	11,727,181	10,575,396	9,685,257	8,792,703

(単位:千円)

区 分		年 度	計 画				
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収益的 収 入	収 入	営業収益	1,850,727	1,844,678	1,833,415	1,836,165	1,823,933
		下水道使用料	1,770,795	1,767,336	1,756,991	1,760,457	1,748,641
		一般会計負担金	79,932	77,342	76,424	75,708	75,292
		営業外収益	1,454,208	1,446,325	1,488,735	1,461,090	1,468,251
		一般会計補助金	544,916	499,219	522,228	479,760	470,494
		その他(長期前受金戻入等)	909,292	947,106	966,507	981,330	997,757
		特別利益	90	100	100	100	100
		収 入 合 計	3,305,025	3,291,103	3,322,250	3,297,355	3,292,284
	支 出	営業費用	3,511,540	3,443,206	3,383,284	3,393,008	3,412,608
		維持管理費	1,578,940	1,478,370	1,368,050	1,375,197	1,368,234
		うち 人件費	132,279	127,120	124,244	152,016	122,883
		その他(減価償却費等)	1,932,600	1,964,836	2,015,234	2,017,811	2,044,374
		営業外費用	194,846	175,831	162,926	169,274	166,126
		企業債利息	81,074	80,842	81,057	83,259	85,003
		その他(雑支出等)	113,772	94,989	81,869	86,015	81,123
		特別損失	1,010	376	423	457	525
		予備費	4,546	4,546	4,546	4,546	4,546
		支 出 合 計	3,711,942	3,623,959	3,551,179	3,567,285	3,583,805
		収益的収支差引	△406,917	△332,856	△228,929	△269,930	△291,521

資本的 収 入	収 入	企業債	1,484,200	1,124,000	1,175,200	1,033,000	1,004,400
		交付金	1,146,085	820,250	702,150	887,780	840,090
		一般会計出資金等	198,579	169,323	154,739	128,671	114,625
		その他(貸付金償還金等)	380,713	287,491	192,094	2,819	2,752
		収 入 合 計	3,209,577	2,401,064	2,224,183	2,052,270	1,961,867
	支 出	建設改良費	3,012,647	2,037,354	2,031,755	1,948,874	1,869,414
		うち 人件費	65,331	65,737	66,145	66,558	66,972
		企業債償還金	1,276,046	1,105,986	1,061,431	864,137	829,476
		その他(貸付金等)	5,450	1,490	1,588	1,806	2,167
		支 出 合 計	4,294,143	3,144,830	3,094,774	2,814,817	2,701,057
		資本的収支差引(A)	△ 1,084,566	△ 743,766	△ 870,591	△ 762,547	△ 739,190

補填財源使用可能額(B)	1,370,889	1,202,111	1,473,126	1,614,792	1,795,181
年度末資金過不足額(A)+(B)	286,323	458,345	602,535	852,245	1,055,991
年度末企業債残高	9,004,757	9,025,771	9,141,740	9,312,203	9,488,427

③ 収支の見通しについて

投資計画や維持管理計画、使用料収入の見通しなどを踏まえ作成した財政計画における10年間（令和元年度から令和10年度）の収支の見通しは次のとおりです。

【収益的収支】

収益的収入は、水洗化人口の減少により使用料収入の減少が見込まれ、また、収益的支出は、老朽化施設の更新が増え減価償却費が増加することから、損益収支は悪化し、令和6（2024）年度には損失（赤字）が発生する見通しです。

【資本的収支】

資本的収入は、老朽化施設の更新が増えることにより企業債の発行は増えますが、資本的支出における企業債償還金の額が大きく減少するため、資本収支は大きく改善される見通しです。

【資金収支】

当面の資金額は少ないものの、損益収支が悪化する以上に資本収支の改善が大きいため、計画期間の最終年度である令和10（2028）年度において、約10億円が確保され、その後も増加する見通しです。

しかし、下水道事業は建設事業に対する国からの交付金や元利償還金に対する一般会計繰入金などの財政措置が大きく、制度改革による影響が大きいため、国の動向を注視する必要があります。

（3）今後の検討課題等

① 経営健全化・収支改善について

損益収支の改善策として、資金の状況を見ながら企業債の借入条件を見極め、利息負担の軽減を図ります。

また、官民の役割分担を見直し、包括的民間委託の導入について検討するなど、効率的な運営を進めるとともに、事業の安定化を図る方策を検討します。

② 使用料改定について

基本水量や基本料金の見直しによる収支の影響とともに、使用料改定の時期についても、資金不足発生タイミングで行うのではなく、将来の財政状況を見据えた中での計画的な見直しを検討します。